

## チャレンジ! 野菜作り

色が多彩で  
楽しみ多い  
ズッキーニ



板木技術士事務所 板木利隆

ズッキーニはカボチャの仲間の「ペポ種」の一つで、つるなしカボチャの別名もあります。近年消費が急速に伸びて知名度も高まり、今やすっかりおなじみの野菜となりました。キュウリほどの大きさで早採りしたものが主ですが、ゴルフボール大のかわいい球形果の品種もあり、バリエーションが豊

富です。

種まきの適期は3月下旬からですが、種子は早めに準備しておきましょう。

苗作りは普通のカボチャに準じて、3号のポリ鉢に2粒まきし(図1)、本葉出始めの頃間引いて1本立てとします。本葉3〜4枚になった頃、畑に植え出しましょう。基肥に堆肥、なたね油かす、化成肥料を施し、畝の間は130〜150cm、株間70cmぐらいに植え付けます(図2)。

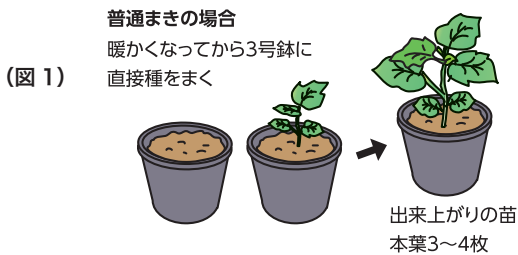
雌花は短縮した茎に多く付き、開花後の肥大は早いのが特徴です。長形種は20cmぐらいになったら遅れずに収穫しましょう。通常開花

後3〜6日ぐらいで収穫適期を迎えるので目安にしてください。

風が強い場所では、(図3)のように短い支柱を、つるを挟むように交差させて立て、固定しましょう。

主な品種としては、長形緑色果の「ダイナー」(タキイ種苗)、「グリーントスカ」(サカタのタネ)、黄色果の「オーラム」(タキイ種苗)、「ゴールドトスカ」(サカタのタネ)のほか、珍しい卵形果などもあります(図4)。

炒め物、揚げ物、煮物など、さまざまな調理に向くズッキーニ。収穫遅れで大きくなり過ぎた場合は、バーベキューにするとおいしくいただけます。

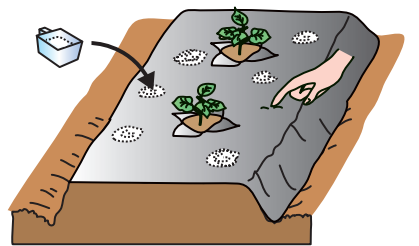


(図1)

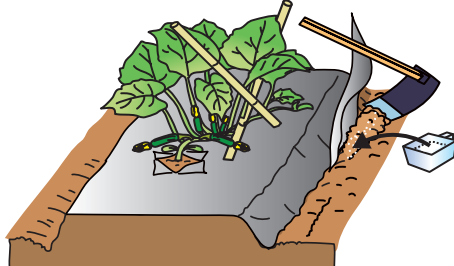
普通まきの場合  
暖かくなってから3号鉢に  
直接種をまく

出来上がりの苗  
本葉3〜4枚

(図2) 第1回追肥  
植え付けの半月後、株の近くの所々に  
指先で穴を開け、肥料を施す。  
化成肥料 1株当たり大きじ1杯

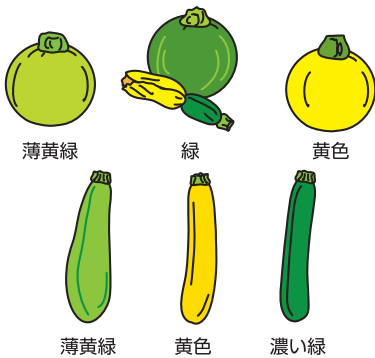


(図3) 第2回追肥  
収穫始めの頃、フィルムの裾をめくり上げて追肥する。  
化成肥料 1株当たり大きじ2杯



風が強い場所ではつるが振り回されないように  
短い支柱を交差させて立て固定する

(図4)



薄黄緑

薄黄

薄黄緑

薄黄

薄黄

濃い緑

## 肥料・農薬のご紹介

家庭菜園には

## ダントツ粒剤 (1kg)



気温も上がり、春夏野菜の準備をする時期になりました。

ですが、春は害虫が増える時期でもあります。

そこで、オススメするのが「ダントツ粒剤」。水稲やトマト・ナス・キュウリ・キャベツ・ブロッコリーなど、幅広い作物に使用できる殺虫剤です。育苗期後半から定植時に使用して丈夫な苗を育てましょう。

また、定植後、気付けば大量発生しているアブラムシ類・コナジラミ類に対しては、株当たり1gの処理がオススメです。

「1gずつ量るのが面倒!」「農薬を直接さわるのがイヤ!」という時に役立つ「ひと振りちゃん」(ダントツ粒剤専用散粒器)をプレゼント!

家庭菜園の強い味方「ダントツ粒剤」をぜひ、お試しください。

※ご使用の際は、ラベルの適用内容等をご確認ください。